



Data

監督：ポール・マクギガン
原作：ピーター・ターナー 『Film Stars Don' t Die in Liverpool』
出演：アネット・ベニング/ジェイミー・ベル/ジュリー・ウォルターズ/ヴァネッサ・レッドグレイヴ

■ショートコメント■

◆若い時は美人でオスカーを受賞した名女優でも、歳をとればその魅力は失われるもの。それは仕方ない。しかし、本作で、往年の名女優グロリア・グレアム（アネット・ベニング）は実の息子と同じ年頃の恋人ピーター・ターナー（ジェイミー・ベル）と熱い恋を！

◆本作はピーター・ターナー本人が1987年に発表した同名の回顧録を映画化したものだから、ホントのお話なのだろうが、「美しく生きた、美しく演じた。」と記載されたチラシにもかかわらず、私には美しさはちっとも・・・。

◆アカデミー賞に4度ノミネートされた経験を持つ女優アネット・ベニングは、20年もの間この役を待ち続けたそうだ。しかし、この歳で若い男とねんごろになれば、そりゃいいものだろうが、ガンになったのに治療を拒否しながら、男関係だけはいいようにというのはいくら何でも虫が良すぎるのでは。ケンカした時に、思わずピーターは「この分かんず屋のババア！」と怒鳴っていたが、私ならすぐにそうになってしまいそう・・・。

◆何とかラストまで我慢して観たが、ハッキリ言ってこりゃ時間のムダ。ちなみに、グロリアの病状が気になるピーターは、イギリスのリヴァプールからアメリカのニューヨークの電話して、グロリアの主治医からホントの病状を聞き取っていたが、こんなことが今ドキ許されるの？最後はグロリアの身内（息子）がグロリアを引き取ってニューヨークに飛び立ったが、インフォームドコンセントの点からも本作は問題が多いのでは・・・。

2019（平成31）年4月8日記